



WEB レピュテーション API

悪意のある URL をリアルタイムで識別

Avira の Web レピュテーション API を使用すると、セキュリティベンダーとサービスプロバイダーは、インターネットユーザーに脅威となる可能性のある Web サイト、URL、ドメインをすばやくかつ簡単に識別することができます。

RESTful JSON API, を使用することで、クライアントデバイスまたはオンラインサービスは Avira URL Cloud (Avira Protection Cloud の一部) にクエリを実行し、URL の脅威分類と対応するドメインのコンテンツ分類を受信できます。Avira の Web レピュテーション API は、悪意のある URL や不適切なインターネットサイトを識別する、リアルタイムのサイト固有のクエリアプローチを実現します。Avira の脅威インテリジェンスソリューションのポートフォリオの一部として提供されるこの API は、Web レピュテーションデータの脅威フィードに代わるものとして、オンデマンドで提供します。これは、Security as a Service、アプリケーション、ファイアウォール、ルーター、電子メールスキャン、Web トラフィックスキャン、インターネットコンテンツフィルタリングにとって理想的なソリューションです。API によって提供されるレピュテーションデータに含まれるのは以下の項目となります。

脅威の分類

クライアントは、1つまたは複数の URL をサービスに送信し、各 URL のセキュリティ分類を含む単一の応答を受信します。これには、ブラックリストに登録されているもの (マルウェア、フィッシングまたはスパムを含む)、

安全ではない可能性があるアプリケーション (PUA)、潜在的に悪意のある検索エンジン、または URL がクリーンかつ安全であるものが該当します。この情報を使用して、ユーザーの脅威となり得る URL、ドメイン、サブドメイン、または IP へのアクセスからユーザーを保護することができます。

コンテンツの分類

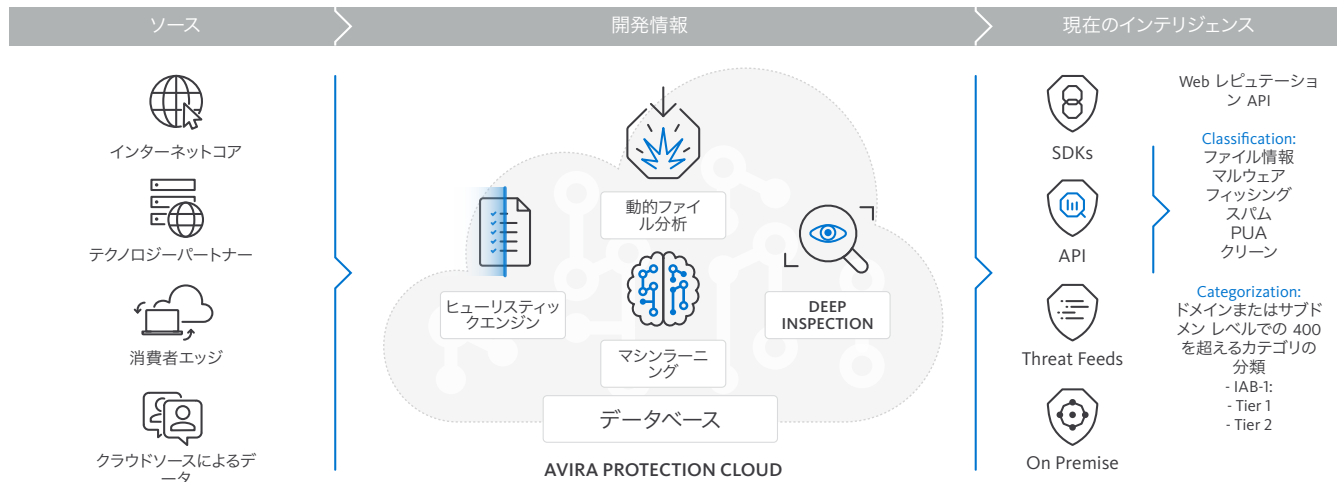
クライアントへの同じ応答により、IAB-1、Tire1、2 に対応するドメインのリアルタイムのコンテンツカテゴリをオプションで配信することができます。ドメインレベルまたはサブドメインレベルで適用される 400 以上のカテゴリは、ペアレンタルコントロール、生産性またはドメインの分類を必要とするソリューションに特に役立ちます。カテゴリの例としては、IAB25-3 アダルトコンテンツ、IAB12-WS1 ソーシャルネットワーキング、また IAB17 スポーツなどが挙げられます。

主な機能:

- 分散型、高可用性、フォールトトレラント
- ホワइटリストと例外リストによるキャッシュフレンドリーな機能
- 使用量制御のための統計および割り当てサービス
- 近似一致アルゴリズムとスマートパス継承によるカバレッジの拡大
- 複数言語対応



WEB レピュテーション



実装

Avira URL Cloud と通信するために、クライアントは、まず認証のための Avira API キーをサービスに送信します。その後、アメリカ英語、ドイツ語、スペイン語、フランス語、イタリア語、オランダ語またはポルトガル語 (ブラジル) のいずれかの対応言語によるリクエストで、要求された URL を送信します。

効率を最大化するために、Avira URL Cloud はホワイトリストと例外リストをクライアントデバイスまたはプライベートにホストされたクラウドセキュリティサービス内のキャッシュに配信することができます。推奨される TTL に対してクリーンであるか、悪意のあることが既知である URL、ドメイン、およびサブドメインをキャッシュすると、不必要にクエリが Avira URL Cloud に転送されなくなり、費用対効果の高いパフォーマンスが実現します。

アプリケーション

Web レピュテーション API は、Web ユーザーにセキュアで安全なブラウジング体験を提供するための負担を

かけないアプローチです。そのため、ディープパケットインスペクションや中間者手法などの複雑な技術を実装して、Web サイトやコンテンツを分類したりカテゴリ分けする必要もありません。

これは、悪意のある、あるいは不適切なインターネットサイトから消費者やビジネス ユーザーを保護するベンダーおよびサービス プロバイダーにとって理想的なソリューションであり、マネージド セキュリティサービスプロバイダー (MSSP)、ファイアウォールおよび統合脅威管理 (UTM) プロバイダー、セキュリティ運用センター (SOC)、ならびに付加価値のあるモバイルセキュリティプロバイダーにとって特に有益です。

AVIRA URL SAFETY CLOUD

Avira の URL Safety Cloud は、Avira の Web レピュテーション API に機能性を提供するほか、AWS Marketplace でも利用できます。URL セーフティ Cloud は、開発者向けに、SaaS ソリューションとしてオンライン購入した Avira の Web レピュテーション API の脅威分類要素を簡単に実装する方法を提供します。



仕様

性能:
一般的な応答時間 10 ミリ秒

対応 OS:
すべて (API 経由)

接続:
HTTPS

最大リクエストサイズ:
96kB

脅威の分類:
安全
マルウェア
スパム
PUA
潜在的に悪意のある検索エンジン
フィッシング

コンテンツのカテゴリ:
IAB-1, Tier1および 2 に基づく
キャッシュ: ホワイトリスト、
例外リスト、有効期限 (TTL)

OUR AWARDS



FIND OUT MORE

Website: oem.avira.com
Email: oem@avira.com
Blog: insights.oem.avira.com
Social Media: [@AviraInsights](https://twitter.com/AviraInsights)

Europe Middle East, Africa

Avira
Kaplaneiweg 1
88069 Tettng, Germany
Tel: +49 7542 5000

Americas

Avira, inc
c/o WeWork, 75 E Santa Clara Street
Suite 600, 6th floor San José
CA 95113 United States

Asia/Pacific and China

Avira Pte Ltd
50 Raffles Place
32-01 Singapore Land Tower
Singapore 048623

Japan

Avira GK
8F Shin-Kokusai Bldg
3-4-1, Marunouchi Chiyoda-ku
Tokyo 100-0005, Japan

China

中国北京市朝阳区东方东路19号
外交办公大楼D1座17层1727室
邮编: 100016